

2017.9.7 近未来モビリティ研究会活動

イタリア製超小型EV BIRO試乗 2017.9.7 深井吉男

基本仕様

3mm厚セキュリティチューブラーフレーム
4輪油圧式ディスクブレーキ
開閉可能なサンルーフ&リアウィンドー
広々としたコンパートメントとグローブボックス
後進時警告ブザー

動力仕様

ブラシレス48Vモーター x2
最大出力4KW
制動時充電システム
100Vバッテリーチャージャー

航続距離

55km以上(脱着式バッテリー時)
100km以上(固定式バッテリー時)
※各満充電時の連続走行時

性能

最大速度:45km/h
ブースト機能(登坂時等の出力補助)
最大登坂斜度:20%以上
最小回転半径:約2.8m

寸法・重量

全長:1,740mm
全幅:1,030mm
全高:1,565mm
最低地上高:190mm
重量:245kg(バッテリーなし)

充電

家庭用100Vからの充電
電気代:約1.5円/km
※料金は目安です。深夜電力を使うことでさらに抑えられます。



試乗の印象

価格: ¥125万～¥150万

<良かった点>

- 1) なにより超小型で狭い道でも簡単な取扱い
- 2) 近距離の簡便な移動の足としては十分な動力性能
- 3) 小さな車体にも関わらず二人がなんとか乗れるスペース(日本では法規的にNGですが)
- 4) バッテリー取り外しが可能で、防盜と充電の使い勝手に有効

<気になった点>

- 1) 軽量車体の宿命としてサスペンションがストロークしにくく、ピョンピョン跳ねるような乗り心地
- 2) ペダル配置が不適切なことによるアクセルペダル操作時の足の疲労
- 3) クリープが無く、慣れないと坂道発進などでずり落ちし易い
- 4) 殆ど使い物にならないドアミラー

<総合的には>

チョイ乗りとしては便利そうだが、日本の法規だと一人乗りとなり、しかも¥150万では量販は望めない。物珍しさか、アド(宣伝材料)としての購入動機に留まる。軽自動車幅を利かせている日本では競争力は低い。